

授業科目 コミュニケーション学入門(介護福祉コースを除く)

【担当教員名】 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会（介護福祉コースを除く）・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【一般目標：G10】
コミュニケーションの基礎理論、概念を日常の具体例を用いながら学ぶ。個人内、対人、小集団、組織、マスメディアなど様々なレベルでのコミュニケーションについて、言語、非言語の両側面から考察し、コミュニケーションとは何であるかについて理解を深めていく。個々人の日常生活におけるコミュニケーションの基礎力をつけ、より良い人間関係の形成のための素地を作ることを目的とする。また、将来、保健医療福祉のそれぞれの専門職種として働く現場での様々な状況において、学習した内容を応用しようとする意識づけを行う。

【行動目標：SBO】

1. コミュニケーション理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. コミュニケーションの基礎力をつけ、実践しようとする
4. より良い人間関係の形成のための素養を高める

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション：影響力について考える	1, 2, 3, 4	
2	シンボルとメッセージ	1, 2, 3, 4	
3	言語シンボルと非言語シンボル	1, 2, 3, 4	
4	個人内コミュニケーションと対人コミュニケーション	1, 2, 3, 4	
5	文化とコミュニケーション	1, 2, 3, 4	
6	マスコミュニケーション	1, 2, 3, 4	
7	インターネットとコミュニケーション	1, 2, 3, 4	
8	まとめ	1, 2, 3, 4	

【使用図書】 <書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>

教科書 (必ず購入する書籍)	
参考書	授業中適宜紹介する
その他の資料	ハンドアウト 適宜配布 授業パワーポイント 授業終了後ポータルサイトより各自ダウンロード

【評価方法】 毎回の授業でのコメントシート 15%、レポート試験 70%、授業での発言 15%	【履修上の留意点】 講義形式ではあるが、授業中意見や感想、質問などを求める。積極的に授業に参加する姿勢を高く評価する。
--	--